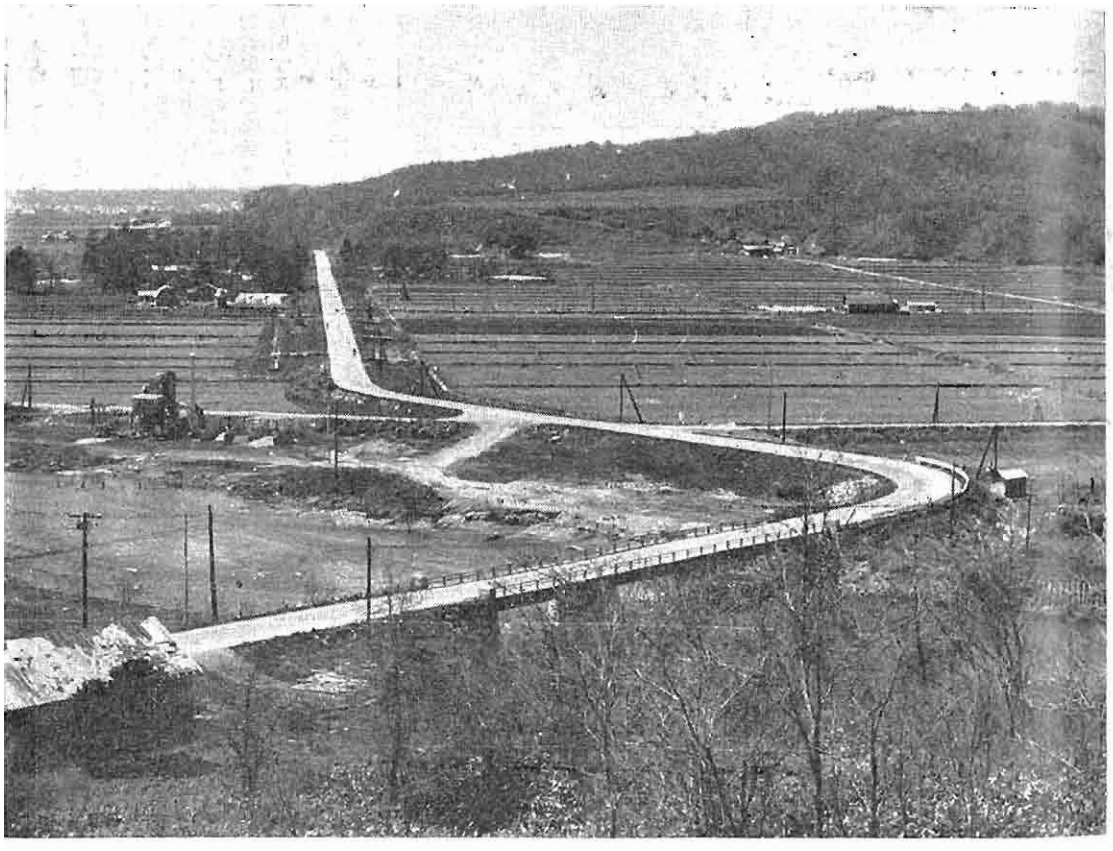
広報 いまかね

発行　今金町役場　　編集　企画室　　印刷　野宮印刷　　44.6．15発行



区画整理された種川地区の水田

6月のこよみ

1日　気象記念日・電波の日・写真の日
4日～7日　歯の衛生週間
7日　計量記念日
10日　時の記念日
15日　父の日

6月

着々進む 種川地区構造改善事業

本町は近代的な農業経営をめざし、生産基盤の整備と機械力の導入を推進しています。

昭和42年から約1億円を投入してほ場整備されている種川地区もそのひとつ。

まっすぐにのびた道々長東線の両側には、約108haの見事な大型水田が広がってきた。

No.132

世帯と人口　世帯数 2,848　人口 11,842（男5,767 女6,075）　44.5.31現在

激しさ増す〝交通戦争〟

―交通安全総合対策本部を設置―

昨年もとおとい生命がうばわれるなど〝交通戦争〟はますます激しくなっております。町ではこれに総合的に対処するため、このほど「今金町交通安全総合対策本部」を設置し、事故〝ゼロ〟をめざして活発な運動を展開することになりました



春の交通安全運動―高校生の一日警察官―

今金町の昨年の交通事故　発生状況は別表2で示している通り、件数死傷者とも四十二年を大きく上まわり、ことしも五月末までに八件の発生と十一名の傷者をだしております

この原因をみますと、わき見運転、車間距離不保持、前方不注視などの運転者の不注意が大半をしめていますが、反面、路上とびだしなど歩行者側にもあやまちがあることは否定できません

もちろん交通施設や環境がまだじゅうぶんでなく、危険にさらされているところもあります。しかし、なんといっても自分で自分を守る積極的な態度が必要ではないでしょうか。

町でも、これまで交通安全推進委員会を中心に、町民ともども運動をもりあげてきましたが、こんごより強力に推進するため対策本部を設けたわけです。

本部は町長を本部長、助役を副本部長に役場内総ぐるみで組織され、六月一日から町民課内に新設された交通安全係が事務局となります。

春、秋の交通安全運動をはじめ、交通安全施設の整備、指導体制の強化、安全思想の普及徹底、交通傷害保障制度の実施など、行政的な課題は山積していますが、町民と一体となって真剣に取り組み解決していこうとするものです。

別表1　43年原因別発生件数

区分	原因	件数	死者数
運転者	わき見運転	4	
	車間距離不保持	4	
	前方不注視	3	1
	安全運転義務違反	3	
	酒酔運転	3	
	除行違反	2	1
	スピード違反	1	
	その他	2	
歩行者	路上とびだし	3	
	路上遊戯	1	
計		26	2

別表2　今金町交通事故発生状況

	42年	43年	増減
件数	18	26	8
死者	0	2	2
傷者	19	28	9

町の人事

石井政吉氏が助役に就任
収入役には戸沢氏





昨年十一月から空席となっていました町助役の後任として、五月十五日の第二回臨時町議会で石井政吉氏（前収入役54歳・写真右）が選任され、またこれに伴って収入役には戸沢定勝氏（前町総務課長44歳・写真左）が選任されました。

石井氏は、昭和八年親加内村役場をふり出しに吏員生活に入り、その間一時満州国に渡りましたが、終戦後復員以来今金町の財政係長、総務課次長、社会課長などを歴任、四十年十月から収入役の職にありました「職員の和をはかり、町政に反映したい」とその抱負を語っております。

また、戸沢氏は昭和十四年に利別村役場に奉職以来吏員一筋に生き、今年でちょうど三十年になります。

その間総務係長、社会係長を経て昭和三十三年から議務課長を勤めていました

国保病院長に
池下先生



前院長の岡本先生の後任に池下先生（31歳）が四代目の院長として就任しました。

池下先生は、三十七年札幌医大を卒業後、真狩、羅臼、南茅部の各国保病院に勤務のかたわら和田内科で研究を続けておられ、現在専門の消化器と老人病で学位論文を提示中です。

「患者本位の診療を行ない、肉親に接する気持で最善をつくしたい」と意欲を燃やしています。

7月にも1、2回低温
―こんごの予報に十分注意を―

五月二十日札幌管区気象台の三ヶ月（六月～八月）予報によりますと六月下旬からぐずつき気味の天気になり、稲の成長にとって最も重要な幼穂形成期の七月には一、二回はつきりした低温の時期があり月末に大雨になるおそれもあります。

また、八月も中旬に一時夏型の天気が現われる程度で、気温は一般に低く曇雨天の日が多くなるとのことです。

このように、今夏の天候は決して楽観できず、局地的な強い低温の出ることも予想されるため、桧山支庁ではつぎのことに注意し、田植えがはじまった五月下旬から低温が続いておりその後の稲の活着が悪く、一部では黄ばくされがでております。

今夏の天候も長期予報では変動が大きく不安な傾向にあるので、予報に十分注意し、被害を最少限にとどめるよう万全の配慮が必要です。



悪天の中での田植作業

こんごの水稲管理をするよう呼びかけています。

かけながしかんがいは絶対にさける

▽水管理

かけ流しかんがいは絶対にさけ、早期かんがい浅水につとめること。寒冷な日でも深水は水面上に出るようにする。

▽除草

ヒエ等の除草のため除草剤を使用する場合は、雑草の発生前または発生始めに行なうこと。

ヒルムシロの除草は六月末から七月始めの生育最盛期に晴天日を選んで薬剤処理する。この場合水深は三センチぐらいとし、二日間止水する。

▽肥料

生育の良否にかかわらず六月中は絶対追肥を行なわないこと。

▽病害虫

イネヒメハモグリバエなど害虫も平年より多めに発生しており、イネドロオイムシ、ニカメイガなども六月下旬に防除が必要です。

第四子に五千円
―優良多児家庭に出産祝金―

健康な子を生み育てることを奨励し、明るい家庭の建設を推進するため、道では「優良多児家庭出産祝金贈呈要綱」を定め、実施することになりました。

戦後、母子保健は著しく改善されましたが、最近経済の高度発展につれて生活水準に対する欲求が高まり子どもをできるだけ少なく生もうとする風潮や、出産時期を遅らせる傾向にあります。これによつて過去二十年間に子どもの出産率は半減し、高齢出産、人工流産などが多くなり、母体をそこなうとともに異常児の出生も多くみられるようになりました。

このため、北海道二世紀の担い手として期待できる心身健全な「人づくり」を推進することになつたものです。

▽出産祝金の額は、四人目の子のとき五千円、五人目以上の子のとき一万円

▽出生後二十八日を継続に経過したもの

▽祝金の贈呈は、四月一日以降の出生児から

▽手続きは役場町民課で

老人福祉相談員に
友善さん

当町の老人福祉相談員は友善幸次郎さん（字種川68歳）に決まり、北海道知事から委嘱されました。

最近は、老令人口の増加や社会の変化により、家族との不調和や孤独、病弱あるいは生活に困つている老人がふえている現状にあります。このため、老人福祉のきめこまかな推進をはかろうと今年度から全道に設置されたものです。

どうぞ気軽に相談してください。

中堅青少年海外派遣団員募集中

道青少年育成推進協議会では、北海道二世紀のにない手となる青年に広く国際的視野をかん養させ開発の推進にやくだてようと、つぎの要領で海外派遣団員を募集しています

□派遣期日　昭和45年7月～9月　35日間
□年齢　昭和15年7月2日～25年7月1日まで出生の人
□申込先　今金町長まで7月8日限
□経費約　十万円
□詳細は役場町民課へ
□派遣先　北米地域

人事異動

△四月一日付▽
▽土地改良課換地計画係　渡辺茂▽建設課水道係　河野富雄▽町民課住民係　加藤香代子

△五月十五日付▽
▽総務課長兼企画室長　久保田常次

△六月一日付▽
▽総務課長補佐兼管財係長　中井誠司▽企画室企画係長　白山孝▽出納係長　相原博夫▽町民課住民係長兼交通安全係長　上田邦孝▽同課衛生係長兼福祉係　佐々木哲也▽同課年金係長　下山更治▽農業委員会農地係長　田村正已▽土地改良課換地計画係　鎌田信隆▽同課土地改良係兼農業課農産係　島山英弘▽商業課商農改善企画係　川島紀邦▽町民課国保係兼年金係　池田常教▽同課住民係兼交通安全係　高田俊彦▽総務課財政係　高崎トキ子▽税務課税務係兼町民税係　重田実▽建設課建築係　滝本隆司▽議会事務局　細田征夫▽保育所調理士　山本定子

青少年会館に〝サクラ〟



青少年の研修の場を花で囲まれた美しい環境にと、今金ライオンズクラブは五月十六日、町青少年会館周辺にサクラを植樹しました。

懸坂今金林業指導事務所長の指導により、十名のライオンズクラブ員はなれない手つきで、ヨシノ、八重ボタンの三種類の苗木約百二十本を植えましたが、三年後にはみんなに喜ばれるようになるーと満足そうに語っていました。

安全度をテスト



春の交通安全運動の一環として五月十七日、第二回目の安全運転ラリーが行なわれました。

このラリーは、交通事故防止を目ざし商工会青年部が主催して昨年から実施されているもので、この日は悪天にもかかわらず五十六名のドライバーが参加し、自分の安全度をテストしました。

「生きた勉強になる」と運転者にも好評です。

道夫さん一家



節税と経営の指針に

＝青色申告＝

青色申告制度は昭和二十五年に設けられてからことしで二十年目になります

この間青色申告をする人の数はしだいに増加し現在では約百三十五万人、普及割合は国税納税者の約五十％となっています

これは単に税金の面で有利であるばかりでなく、毎日の取り引きを正確に帳簿をつけることによって事業の内容がよくわかり、経営の合理化にもやくだつことが理解されてきたためです

青色申告をすることができる人は、事業所得、不動産所得、または山林所得のある人です。

ひとりでも多くの納税者のかたが申告されるようおすすめします。

テレビ・ラジオを楽しく

六月は、電波障害一掃運動月間です。

テレビを雑音のないよい画面で楽しむために、バイクとか自動車に防止器を使用するなど、みなさんのご協力が解決の大きな力となっています。

雑音についてのご相談は北桧山地方分会（大倉有線KK内）に申し出てください。

どしどしおよせ下さい!!

「広報いまかね」をより町民のみなさんと親しみのあるものにするため努力しています。

広報について気づいた点町に対する要望、ご意見、町の話題、写真などなんでもよろしいです。役場企画室までどしどしおよせください。採用原稿には謝礼を呈します。

よろこびかなしみ（5月分）

◆出生21名

杉林あゆみ（美晴・八東）
螺良　芳（俊勝・末広町）
田中清美（秀一・白石）
菊地　朗（清森・末広町）
阿部祥子（春樹・豊田）
安達秀紀（末松・昭和町）
大沢恵美（五十由・末広町
加藤義信（義明・柳町）
境田亜紀（広・末広町）
庫元稲子（邦之・豊田）
川島美紀（紀邦・緑町）
石塚茂喜（七郎・光台）
菊谷昇太郎（栄一・昭和町
藤井邦子（勇・末広町）
宮　正明（光雄・住吉）
川村浩一（義夫・開運町）
幅口さつき（忠男・鈴岡）
高橋伸幸（勝幸・南町）
境田　等（善太・八東）
永井孝男（直孝・神丘）
坪井　久（恵二・末広町）

◆婚姻7組

納谷稔＝鈴木チヨ（今金）
田島祥高＝中島百合子（今金）外川慶弘＝菊地クニ（花石）加藤三明＝山本佳津江（種川）岡重司＝永井公美子（八東）宮崎稔＝久保田久代（田代）内藤昭司＝小田島節子（今金）

◆死亡3名

鈴木晃41（春日井）田中キク50（鈴金）永井孝男0（神丘）

事業所統計調査に協力を

七月一日現在で、第九回目の事業所統計が実施されます。

この調査は三年ごとに行なわれるもので、対象は会社、工場、商店、事業所、病院、学校、旅館、寺院などすべての事業所で、地域的、産業別、規模別、さらに組織別の分布を明らかにして、経済の実態を把握し行政上の基礎資料に利用されます。調査員が近く対象事業所を訪問しますのでご協力ください。

6・7月の納税

＜納　期＞

国民健康保険税（1期）6月30日
町　民　税（1期）7月31日